

2024 年度 NPO 法人 ガリレオ工房 年 次 報 告

2024 年度 NPO 法人ガリレオ工房理事会

NPO 法人ガリレオ工房は、2026 年 1 月、前身である「物理教育実践研究サークル」設立から 40 周年を迎えます。設立当初からの「時代のちょっと先をみる」精神をひきつぎ、新しい 1 歩への企画の準備を始めました。意欲的な企画のための経営基盤の整備にも努め、社会への発信力を強めてまいります。2024 年度の活動の概況を報告いたします。

【2024 年度役員】

理事長 白敷哲久

副理事長 伊知地国夫 土井美香子

理事 瀧川洋二（名誉理事長）

土佐幸子 早川詩音 原口るみ 古田豊 古野博 松永祥太 吉村利明

監事 小川哲男

【活動の概況】

(1) 理科教育・科学技術教育・自然科学教育に関する調査研究開発

−1. 例会

8 月を除く毎月 1 回開催し、研究や実験の開発、報告などを行い、活発に議論した。延べ約 300 人の参加者があった。

・オンライン開催:令和 6 年 5/21,6/18,9/17,10/15 11/19, 令和 7 年 1/21,2/18, 4/15

・小金井市マロンホールでのリアル発表とWEB参加のハイブリット開催:令和 6 年 7/16 と 12/17、令和 7 年 3/18

−2. 理事会

毎月 1 回と臨時理事会 3 回計 15 回を、WEB 会議システムを活用して行い、NPO 法人ガリレオ工房としてふさわしい活動の企画、調査を行った。

−3. SCI-NET 実験教室検討会

科学ボランティアの育成と活動を支援する会合をオンラインとリアル対面の検討・準備会を計 13 回行った。

(2) 実験教室・実験ショー・講演会等のイベントの開催及び協力・参加

−1. 実験教室や実験ショー

PTA・地方自治体・科学館・大学・企業など主催の実験教室・実験ショーへの協力、監修、出演等行った。コロナ禍を経てリアル開催のイベントがだいぶ戻ってきたことから年間 26 回の活動を行った。

−2. 青少年のための科学の祭典

青少年のための科学の祭典東京大会 in 小金井に参加した。

−3. ガリレオ工房の独自企画で実験ショー・サイエンスカフェ等を開き、ノウハウの伝達改良を企画

「ガリレオおんらいん」を企画実施し、外国や実験教室に参加する機会が少ない地域での実験教室をオンラインで結び、会場運営ノウハウの伝達等を行った。

(3) 理科実験教材・科学技術理解増進に寄与する器械装置の研究・開発・普及

−1. ガリレオ理科パックの販売継続

(4) 理科教育・科学技術教育・自然科学教育の普及・啓発を目的とする出版事業・広報

−1. 各種メディアとの協力

数多くのTV・ラジオ・新聞・雑誌の番組監修、協力、記事提供を行い、TV・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等を通じておこなう理科教育・科学技術教育・自然科学教育の情報提供・普及・啓発を行った。

−2. ガリレオ工房通信

年間11回の通信発行を行った。本年度より、理事の巻頭言と有識者からの特別寄稿の掲載を開始した。

−3. 理科教育・啓発に関する出版物の企画、編集等

複数の書籍執筆、監修をおこなった。

(5) 諸外国に対し資金・資材を投入し、人材を派遣し又は受け入れることによる国際交流

−1. 諸外国との協力

タイの2拠点とガリレオおんらいん(オンライン実験教室)を3回開催した。

(6) 理科教育・科学技術教育・自然科学教育に関する提言

−1. 理科教育・科学技術教育・自然科学教育に関して国・地方自治体・シンクタンク等に対する提言

会員各自、調査研究に取り組んだ。

−2. 安全管理教育の普及

青少年のための科学の祭典、世界一行きたい科学広場、サイエンスリンクでの安全管理要員の配置と人材育成を行った。

−3. 本を用いたサイエンスコミュニケーションの啓発と普及

9都道府県で年間計26回の理科読事業を行った。また、山形県立図書館、山形大学との3者協定を継続し、理科読を担う人材育成を行った。

【財務諸表】

令和6年度 活動計算書				令和6年度 貸借対照表			
				特定非営利活動法人ガリレオ工房 (単位:円)			
科 目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計	科 目	金額		
I 経常収益				I 資産の部			
1 受取会員費	480,000	0	480,000	1 流動資産	15,607,577		
正会員会員費	348,500	0	348,500	現金預金	198,123		
準会員・その他会員会員費・入会金				未収入金	0		
2 受取寄附金	6,000	0	6,000	仮払金	801,859		
受取助成金				仕掛品	112,543		
受取補助金	0	0	0	前払費用			
4 事業収益				流動資産合計		16,720,102	
理科教育・科学技術教育・自然科学教育に関する講習会・実験室・実習コーナー・講習会等のイベントの開催及び協力・参加	3,718,355	0	3,718,355	2 固定資産			
理科実験教材・科学技術理解増進に寄与する器機装置の研究・開発・普及	28,000	0	28,000	有形固定資産	2		
理科実験教材・科学技術理解増進に寄与する器機装置の研究・開発・普及	4,644,691	0	4,644,691	無形固定資産	0		
理科実験教材・科学技術理解増進に寄与する器機装置を目的とする出版事業・広報誌等	0	0	0	投資その他	0		
諸外国に対し資金・資材を投入し、人材を派遣したり受け入れることによる国際交流				固定資産合計		2	
理科教育・科学技術教育・自然科学教育に関する講習会・実験室・実習コーナー・講習会等のイベントの開催及び協力・参加	4,462,353	0	4,462,353	資産合計		16,720,104	
5 その他の収益				II 負債の部			
受取利息	5,237	0	5,237	1 流動負債	2,662,885		
雑収入	725,581	0	725,581	未払法人料等	527,800		
経常収益合計	14,418,717	0	14,418,717	未払消費税等	257,100		
II 経常費用				預り金	30,370		
1 事業費				借入金	165,000		
人件費計	6,648,543	0	6,648,543	前受金	208,000		
その他経費計	2,264,419	0	2,264,419	流動負債合計		3,851,155	
事業費計	8,912,962	0	8,912,962	2 固定負債		0	
2 管理費				固定負債合計		3,851,155	
人件費計	1,709,000	0	1,709,000	負債合計		3,851,155	
その他経費計	1,221,143	0	1,221,143	III 正味財産の部			
管理費計	2,930,143	0	2,930,143	前期繰越正味財産	10,821,934		
経常費用合計	11,843,105	0	11,843,105	当期正味財産増減額	2,047,015		
当期経常増減額	2,575,612	0	2,575,612	正味財産合計		12,868,949	
III 経常外収益				負債及び正味財産合計		16,720,104	
経常外収益合計	0	0	0				
IV 経常外費用							
経常外費用合計	0	0	0				
税引前当期正味財産増減額							
法人税、住民税及び事業税							
当期正味財産増減額							
前期繰越正味財産額							
次期繰越正味財産額							

【本年度の成果と次年度めざすこと】

「科学の楽しさをすべての人に」を合言葉に本年度も様々な活動を、全国、海外に向けて展開することができました。特筆としてWEBを活用した活動と、メディアとの協力がすすみました。

(1) WEB の活用

ガリレオ工房では、2024年7月にホームページをリニューアルしました。ホームページの保守リスクの対策とともに、ガリレオ工房の活動を会員内・会員外に伝えるられるようイベント情報発信の強化や、通信バックナンバーの閲覧性改善などを行いました。

会員用マーリングリストも、近年のメールフィルタ強化の影響で一時停止していましたが、再開に向けた検討を続け、2025年7月にホームページを利用して会員用マーリングリストの運用を再開しています。

今後も会員内外への情報発信や交流をより活発にできるよう、継続してホームページ改善検討をしていきます。

また、会員外にもガリレオ工房を知つてもらう活動の一つとして、Tiktokの運用を2024年から始めています。2024年度は9件の動画投稿を実施しました。

今後はより多くの動画を定期的に発信していくことが必要と考えており、イベントなどを含めた動画撮影の強化と編集会議を定期的に実施し、ガリレオ工房の活動内容の対外アピールを進めています。

(2) ガリレオおんらいん

ガリレオおんらいんは、普段科学実験をする機会の無い子どもにも科学実験を届けるオンライン実験教室です。事業を通じて、困りごとを抱えた子どもを変わりゆく世界の課題に挑戦する人に育てるこことを目指しています。

昨年度は「プラスチックごみ」をテーマに実験教室を行い、日本とタイ約100名の子どもに実験を届けることができました。

今後は実験教室の中身をプラスアップするとともに、企業との協業などを通じてガリレオ工房外との協力をより一層強化し、より効果的に多くの子どもたちに実験を届けてゆきたいと考えています。

(3) メディアとの協力

様々なメディアにおける理科教育・科学技術教育・自然科学教育の取り組みに協力しています。特にテレビ番組については、NHKによる教育番組のほか、各局のバラエティ番組における理科の題材の紹介において、撮影実験の提案、実験装置の設計・製作、撮影の立ち合い、テロップ等の監修など、幅広く協力しています。実験結果の映像映えを極めて強く意識することから、通常とは異なる方向性での実験製作に挑戦します。この成果は、通信等で適宜ご報告しています。また、理科教育の知見に基づいた解説原稿の提案、実験するタレントの安全管理など、ガリレオ工房の他事業の成果が活かされています。テレビ以外でも、営利企業の広報動画やWeb記事の作成などの監修・協力を数多くしています。

一方で、最近は個々人でさえ動画等のコンテンツを制作し発信する時代となりました。誤った科学知識や、安全対策が取られていない実験、そもそも起こりえない偽の実験など、様々な問題が出てきています。正確で安全なコンテンツの提供と製作はもとより、メディアにおける科学の正確性と安全性そのものの重要性の啓発も課題となりつつあると感じています。

ガリレオ工房の2024年度のメディアとの協力事業 リストアップ

- ・TTI ニコンキッズアイランド(web記事) ・NHK 5分でわかる理科(テレビ 教育番組)
- ・NED 漂流兄弟(テレビ 教育番組) ・小学館 小学1年生 なぜ? なに? ハテナン(雑誌記事)
- ・NHK 天才てれびくん(テレビ 教育・バラエティ番組) ・NHK カネオくん(テレビ バラエティ番組) ・NHK 大科学実験の続編(テレビ 教育番組) ・産業編集センター オーナー向け会報誌(雑誌記事) ・化学メーカーのサイトに掲載するショート動画(Webコンテンツ・動画) ・サイエンスライブショー 大科学実験(テレビ番組の派生)